

No1

学会ニュース

新任教員インタビュー



おぎす よしたか
荻巣 嘉高 先生

南山大学経済学部経済学科 卒業, 学士(経済学)

神戸大学大学院経済学研究科

博士課程前期課程 修了, 修士(経済学)

博士課程後期課程 修了, 博士(経済学)

ご出身はどちらですか?

出身は千葉県です。
大学生の時は愛知県にいました。

大学時代は何を学んでいらっしゃいましたか

ゲーム理論などマクロ経済学をメインに労働経済
などいろいろな分野を学んでいました。

先生の現在の専門分野・研究テーマを教えてください

現在は労働経済の中でも格差について研究しています。
例えば、コネ採用などについてです。

大学教員になったきっかけを教えてください
また、大学教員になっていなかったら何をしていますか

大学時代の友人に企業に勤めるよりも、教員になるほうが向いているのではといわれたのがきっかけです。
大学院に行ってみて、自分にも適性があるのではと思ったので教員になりました。
大学教員になっていなかったら、サッカーの審判をしていた経験もあって、レフェリーになっていたかもしれないです。
他にも、大学院のころは喫茶店を開こうかなとも思っていました。

今後何か挑戦したいことはありますか

体が硬いので、180度開脚できるようになりたいです。
研究者としては、良い雑誌に投稿して掲載したいですね。

大学の教員としてのやりがいがありますか

大学教員として働くのが甲南大学が初めてなので、分からないことも多くありますが、教えることが好きなので自分の伝えたいことが伝わると嬉しいです。
授業をしていて、よく分かっているなとか、聞いてくれているなという子がいたりしたら、コミュニケーションがとれているなと感じますね。

休日は何をされていますか

ゲームをしたり寝てたりしますね。
後、喫茶店にも行ったりします。



自分の中で大切にしていることは何ですか？

私自身が運やタイミングで生きていると思っています。
いるんです。

タイミングは色々な人にそれぞれのタイミングで来ると思うんですけど、チャンスが来たときに離さない握力を持つことはとても大切にしたいと思っています。

そのためにも準備として自力はつけるとよいですね。

他にも、シャイにならずに喋れたり、基本的なことをよく知っているというような準備ができていれば、チャンスはつかめると思います。

甲南大学や学生にどのようなイメージを持っていますか

まじめで静かな学生が多いイメージですね。
入る前に想像していたイメージとは全然違いました。

後期からゼミを持たれますが、どのようなゼミにしたいですか

学生がやりたいことをさせてあげたいですね。
ただ、卒論は書いてほしいというのがあります。
というのも、卒論を書くってというのは、先ほども言った自力にもつながるものなんです。論文って添削してもらえ環境じゃないと書けないものですし、1度書いたことがあるかないかというのは力の大きな差になると思っています。

他にも、書く力が身についたり、論理的に説明する力がついたり、自分の名刺代わりになったりするのでやはり書いてほしいですね。

最後に甲南大学で経済学部を教えるにあたって今後の意気込みや学生へのメッセージをお願いします

大学では、学んだことでも役に立つことも、役に立たないこともあると思います。
ただ、それは人によって違うので自分自身で取捨選択して、限りある時間の中で頑張ってもらいたいですね。

新任教員インタビュー



かぎたに こういち

鎧谷 宏一 先生

三重大学 人文学部 社会学科 卒業
神戸大学大学院経済学研究科博士課程
後期課程国際経済先行終了 博士(経済学)

大学生時代は何を学んでいらっしゃいましたか？

途上国の経済に興味があったので、一番その学問に力を入れました。
特に東南アジアですね。

先生の専門分野・研究テーマを教えてください

国際経済学の中でも貿易、特に貿易政策や通商政策と呼ばれるものについて研究しています。政府が貿易に対してどんなことをやっているのかとかですね。例えば、貿易に関わるいろんな問題があると思うんですけど、貿易に賛成している人と反対している人がいる中で、どのような人が貿易に賛成して、どのような人が反対しているのかということの研究をしています。

大学教員になったきっかけを教えてください また、大学教員になっていなかったら何になっていましたか

もともとは教員を目指していたわけではないんです。調べて書く、というのはやってみたいなと思っていてジャーナリストになりたいと思っていました。でも、経済学が面白かったのと研究でもやっていることは、調べて書いていることにかわりないので、やりたいことにつながっているかなと思っています。

大学の先生としてのやりがいがありますか

自分で調べるなど研究にとてもやりがいはありますね。後は、教員として教える中で、教えてもらうこともあって、そのようなところにやりがいを感じます。

今後、何か挑戦してみたいことは何ですか

昔アウトドア系の活動が好きで、山登りとかカヌーとかもよくしていたんですよ。ただ、最近は全然できていないので、時間ができたらまたもう一度やってみたいですね。

休日は何をされていますか

家や外に行ったりして家族と過ごしています。

自分の中で大切にしていることは何ですか

自分の直感は大切にしています。
必ず従う必要はないと思うんですけど、自分からアプローチしたり、行動を試みることはとても大切だと思います。

講義をする際に気を付けていることや大切にしていることは何ですか

学生も、面白いと思ったら自分で調べてくれると思うので、経済学を面白いなということが伝わればいいなと思います。
学生が今まで知らなかったことや気づいてなかったことを伝えることができ、興味を持たせられたらなと思いながら講義をしていますね。

甲南大学や学生にどのようなイメージを持っていますか

おとなしい学生が多い印象です。
授業などでもっと反応してくれたらうれしいですね

後期からゼミを持たれますが、どのようなゼミにしたいですか

ゼミでは学生とすごく接することのできる場なので、交流がしたいし、学生同士もしっかりとつながってほしいです。
一つのチームになれたらと思います。
発表の場があるほうが学生もやる気が出ると思いますし、学内や学外でも発表の場を設けてあげたいですね。

最後に、甲南大学で経済学部を教えるにあたって今後の意気込みや学生へのメッセージをお願いします

なにかしら経済学で面白いと思うことを見つけたいです。

【担当：合原】